第1章 準備

■この章でおこなうこと

AirStation の設定を始める前の準備をおこないます。以後の作業を中断することなく、スムーズに進めるために大切なことについて説明しています。

1.1 あらかじめ確認してください

1.2 AirStation の取り付け

1.3 AirStation とハブ／ LAN ボード接続時の制限

1.4 WEP（暗号化）について　～暗号化のおすすめ～

1.1 あらかじめ確認してください

AirStationの導入をおこなう前に、次のことを確認しておく必要があります。

■ 対応するパソコン環境について

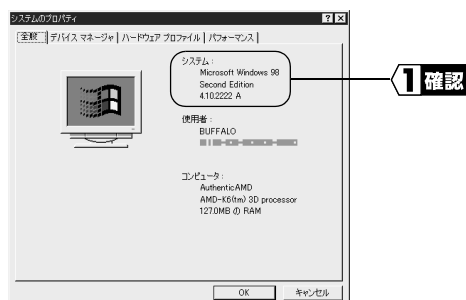
Windows XP/Me/98/952000/NT4.0

⚠注意 使用上のお願い
本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。
パソコンの故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じたAirStationの故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。

■ パソコンのOSを確認する

作業をはじめる前に、以下の手順でお使いのパソコンのOSを確認してください。

1 デスクトップ画面の［マイコンピュータ］アイコンにカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックします。［プロパティ］をクリックします。

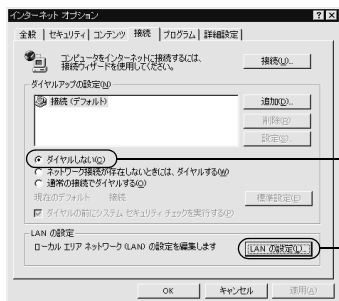
2 「システム」欄に、お使いのOSが表示されます。

■ ブラウザの設定確認

ブラウザの設定で、ダイヤルアップの設定とプロキシの設定を無効にしてください。
InternetExplore5.0以降の場合を例に説明します。

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。

3 「接続」タブをクリックします。

4

［ダイヤルアップの設定］欄にプロバイダの情報がある場合は、その欄の下にある［ダイヤルしない］の前の○をクリックして、●マークを付けます。

「ローカルエリアネットワーク(LAN)」の設定欄にある［LAN の設定］をクリックします。

5 どの項目がチェックされているかを確認します。

控えのために、下の□を同じようにチェックしてください。
□設定を自動的に検出する
□自動設定のスクリプトを使用する
□プロキシサーバーを使用する
□ローカルアドレスにはプロキシサーバーを使用しない

6 チェックされている項目をメモしたら、すべてのチェックをはずします。

■ ネットワークアダプタの確認

弊社製無線 LAN カード／アダプタをお使いの場合にご覧ください。

＜ WindowsMe/98/95 の場合＞

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

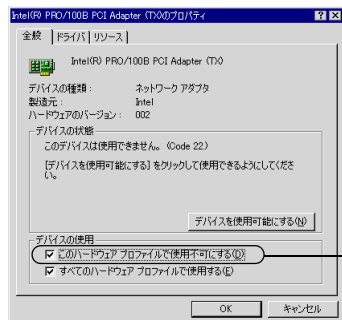
2 ［システム］アイコンをダブルクリックします。

3

［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

「種類別に表示」を選んだ状態で、［ネットワークアダプタ］左の［＋］をクリックします。クリックすると右の図のようになります。

⇒ 次ページへ続く

4 LAN ボードや LAN カードの名前がある場合はすべて使えないようにします。
ない場合は手順 **5** に進みます。

「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」にチェックを付けます。

5 ［デバイスマネージャ］－［ネットワークアダプタ］の中に「AOL」で始まる名前がある場合は、手順 **4** と同じ方法で使えないようにします。

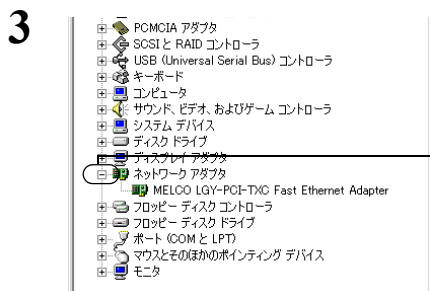
6 ［OK］をクリックして［デバイスマネージャ］を閉じます。

⚠注意 手順 **4**、**5** でドライバを削除した場合はパソコンを再起動してください。

＜ WindowsXP/2000 の場合＞

1 デスクトップ上の「マイコンピュータ」アイコンにマウスのカーソルをあわせ、右のボタンをクリックして、「プロパティ」をクリックします。
(WindowsXP をお使いの場合は、「スタート」－「マイコンピュータ」にマウスのカーソルをあわせ、右のボタンをクリックして、「プロパティ」をクリックします。)

2 ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

3

［ネットワークアダプタ］左の［＋］マークをクリックします。クリックすると左の図のようになります。

4 LAN ボードや LAN カードの名前がある場合はすべて使えないようにします。
ない場合は手順 **6** に進みます。

「このデバイスを使わない（無効）」を選択します。

「OK」をクリックします。

5 ［デバイスマネージャ］－［ネットワークアダプタ］の中に「AOL」で始まる名前がある場合は、手順 **5** と同じやり方で使えないようにします。

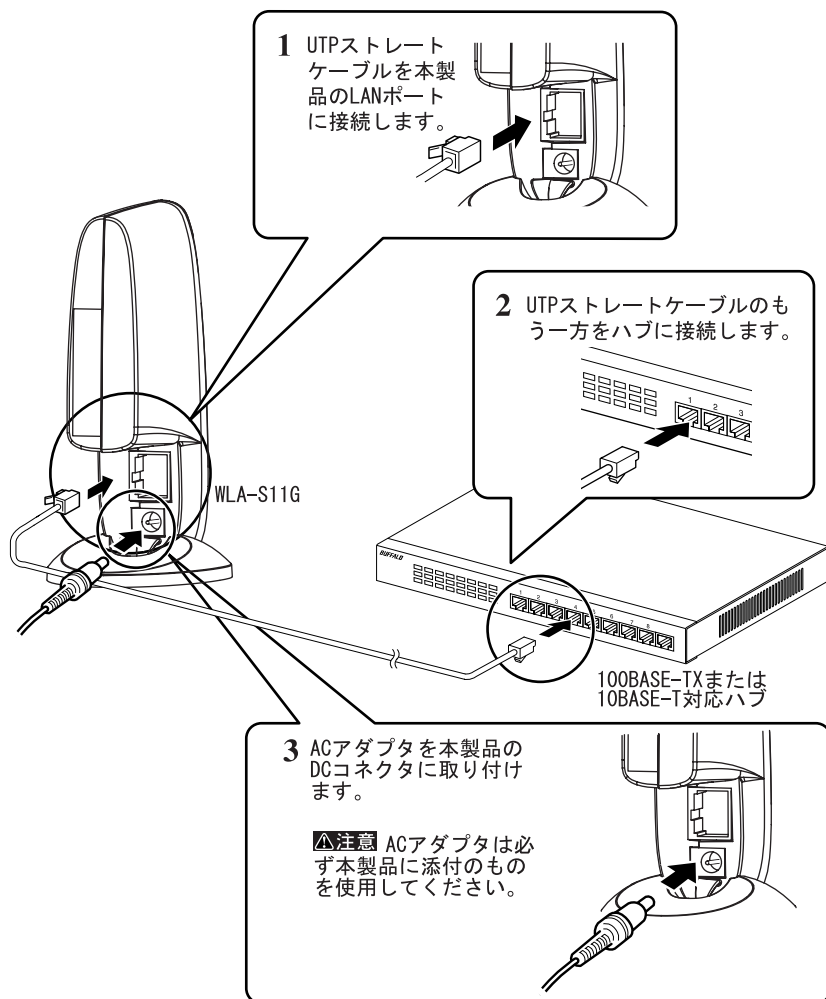
6 ［OK］をクリックして［デバイスマネージャ］を閉じます。

⚠注意　手順 **5**、**6** でドライバを削除した場合はパソコンを再起動してください。

1 準備

1.2 AirStationの取り付け

■ 取り付け方

本製品の基本的な取り付け方について説明します。

メモ 設置時にAirStationが安定しないときは、AirStationに添付の吸着シートをAirStationの底面に貼って、AirStationを固定してください。

1.3 AirStation とハブ／LAN ボード接続時の制限

■ AirStation とハブ／LAN ボードを接続する際の制限事項

使用できるケーブルの種類と長さには、次の制限があります。

10BASE-T の場合

接続	使用する UTP ケーブル	最長距離
本製品(10/100M LANポート)～ハブ間	カテゴリ※1 3以上対応の ストレートケーブル	100m
本製品(10/100M LANポート)～ パソコン間	カテゴリ3以上対応の クロスケーブル	100m
本製品(10/100M LANポート)～ 10BASE-T MAU間	カテゴリ3以上対応の クロスケーブル	100m

100BASE-TX の場合

接続	使用する UTP ケーブル	最長距離
本製品(10/100M LANポート)～ ハブ間	カテゴリ※1 5対応の ストレートケーブル	100m
本製品(10/100M LANポート)～ パソコン間	カテゴリ5対応の クロスケーブル	100m
本製品(10/100M LANポート)～ 100BASE-T MAU間	カテゴリ5対応の クロスケーブル	100m

※1 UTP ケーブルのカテゴリとは、ケーブルの品質を表すもので、カテゴリ 3 よりもカテゴリ 5 の方が高速伝送に対応していることを示します。

1.4 WEP（暗号化）について ～暗号化のおすすめ～

本製品は電波を使って通信をおこなうため、外部から無線パケットを解析されてしまう可能性があります。セキュリティを確保するためには、無線パケットに「WEP」と呼ばれるパスワードを設定して通信をおこなうことを推奨します。

本製品には、128 ビット WEP と 40 ビット WEP の 2 種類の WEP が設定できます。128 ビット WEP（文字入力：13 文字、16 進数入力：26 桁）を設定することで、より高いセキュリティを設定することができます。ただし、40 ビット WEP（文字入力：5 文字、16 進数入力：10 桁）のみに対応した無線 LAN 製品と通信する場合は、本製品の WEP 設定も 40 ビット WEP に設定する必要があります。